



校正証明書

依頼者 グアバリヨセイキ株式会社
住所 茨城県つくば市葛 212
測定項目 偏置度校正計
型式又は性能 TB-73U
製造番号 F905-916
管理番号 CT011
製造者 株式会社 ティアンドアイ
校正項目 偏置度校正計の空気体積対圧力
校正方法 JQA 校正手順書による
(校正番号 E314650, E314648, E314689)
校正室の備置 次頁以降のとおり
校正年月日 2020年3月14日～2020年4月17日
校正実施場所 東京都八王子市南大沢四丁目4番地
一般財団法人 日本品質保証機構 計量計測センター
熱・力学計測課校正室

校正結果は次頁以降のとおりであることを証明します。

2020年3月19日

東京都八王子市南大沢四丁目4番地
一般財団法人 日本品質保証機構
計量計測センター

所長 片桐 拓朗



この証明書は、国内または海外の国家標準にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。誤差による再測定なしに、この証明書のカーゴテープが一部分のみを複製して使用することを禁じます。日本品質保証機構 計量計測センターは、A2LA (American Association for Laboratory Accreditation) によってISO/IEC 17025:2005に基づく校正機関として認定されています。

1. 校正結果

温度

標準の値 (°C)	校正品の標準値(°C)	拡張不確かさ (°C)	備考
10.0	10.0	0.4	

相対湿度

標準の値 (%)	校正品の標準値(%)	拡張不確かさ (%)	備考
20	19.9	2	
50	50.0	2	
80	80.0	2	

気圧絶対湿度

標準の値 (hPa)	校正品の標準値(hPa)		拡張不確かさ (hPa)	備考
	昇圧	降圧		
850.00	850.5	850.5	0.56	
950.00	949.5	949.5	0.56	
1000.00	999.5	999.5	0.56	
1050.00	1029.5	1029.5	0.56	
1060.00	1059.5	1059.5	0.56	

拡張不確かさは、包含係数 $k=2$ から決定したもので、約 95 % の信頼水準をもつと推定される区間を定める。

以下空白

2. 校正条件

- ・校正は、標準器との比較測定により実施した。

(温度・相対湿度)

- ・相対湿度の基準となる標準空間の温度は、20℃とした。
- ・校正は、湿度計を JIS B 7920 に記載された二圧法の実理による標準湿度発生装置の仕様に基づき実施した。
- ・校正を実施したときの校正室の環境条件
 温度：22.8℃ ～ 24.5℃
 相対湿度：21% ～ 22%
 大気圧：1000 hPa

(気体絶対圧力)

- ・圧力値は絶対圧力であり、空気を圧力媒体とした。
- ・校正開始前に予備圧調整を2回行った。
- ・測定は昇圧・降圧の各度を3回行った。
- ・昇圧時、降圧時それぞれについて、上記3回の平均から、標準値を算出した。
- ・圧力保持時間は30秒とした。
- ・電源はバッテリーで、2時間以上の連続使用は行わなかった。
- ・指示値は、器物の直線の基線を基準とべルとした値である。
- ・校正を実施したときの校正室の環境条件
 温度：24.7℃ ～ 25.4℃
 相対湿度：22% ～ 23%
 大気圧：998 hPa ～ 999 hPa

3. 使用した標準器等

品名	型式又は性能	検出番号	製造会社
(温度・相対湿度) 二圧法湿度発生装置	9024	Q719-001	HI System
(気体絶対圧力) デジタル圧力計	470	K74823	HIWA SYSTEMS INC.

補記事項： 校正品の受領後、確認及び調整を行わず校正を実施した。

以上